

# 平成29年度賛助会員募集 説明会

～ みんなでささえる みんなのふくし ～



麻生区社会福祉協議会キャラクター  
キューちゃん



社会福祉法人川崎市麻生区社会福祉協議会

# 平成29年度賛助会員募集に関する説明会

## ○麻生東地区エリア

平成29年1月18日（水）

午前10時～11時30分（予定）

## ○柿生地区エリア

平成29年1月12日（木）

午前10時～11時30分（予定）

会 場 麻生区役所 4階 第1会議室



## 賛助会員とは？

賛助会員とは、麻生区社会福祉協議会 及び  
麻生東地区社会福祉協議会、柿生地区社会福  
祉協議会の活動の趣旨に賛同いただき、その  
活動を資金面から支えていただく方々のこと  
をいいます。



賛助会員からいただく賛助会費については  
町会・自治会や民生委員児童委員をはじめと  
した地域住民や地域の福祉関係者で組織され  
た地区社会福祉協議会の重要な活動資金とな  
っています。

自分たちの地域を自分たちで良くする仕組み

みんなでささえる みんなのふくし

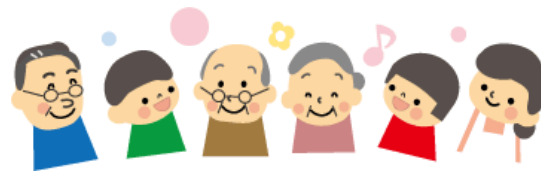


# 社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会は、国の社会福祉法に規定された地域福祉の推進を図ることを目的に、設置された民間の団体です。

麻生区社会福祉協議会では、平成27年度から平成31年度を計画年度とした第3期麻生区地域福祉活動計画の中で「みんなでささえあう、暮らしやすいまちづくり」を目標に町会・自治会や民生委員児童委員をはじめ、福祉施設や障害当事者、ボランティアグループ、保護司、行政などの関係団体と協働して、地域福祉の発展・向上に努めています。

# 地区社会福祉協議会とは？



地域の福祉課題の解決に向け、地域住民が福祉の担い手となり、住民同士がお互いに「ささええあうこと」を目的として、さまざまな活動を自主的に取り組む任意の団体です。

構成員や活動内容は、それぞれの地区社会福祉協議会によって異なりますが、その多くは町会・自治会、民生委員児童委員、保護司、社会福祉に関する団体等によって構成され、様々な福祉活動が行われています。



麻生区内には2つの地区社会福祉協議会があります。

# 麻生東地区社会福祉協議会について

麻生東地区  
社会福祉協議会

地区社会福祉協議会は、  
地域住民に最も身近な社協として地域の方々により  
組織された任意の団体です。



麻生区の人口  
172,382人／75,507世帯（平成26年9月現在）

## 麻生東地区社会福祉協議会

人口 (世帯数)	58,915人(26,391世帯) (平成26年6月現在)
高齢化率 (65歳以上)	21.56% (平成26年6月現在)
設立年月	昭和57年7月
対象地域	細山、多摩美、高石、千代ヶ丘、金程、 向原、百合丘、東百合丘
主な拠点 活動場所	千代ヶ丘いこいの家、百合丘いこいの家、 麻生老人福祉センター、福祉 パルあさお、麻生市民交流館やまゆり等
総予算額	4,000,000円(平成28年度)
構成	町会・自治会、民生委員児童委員、 保護司、関係福祉団体、小・中・高等 学校、PTA、老人クラブ、母親クラブ、 賛同者

# 柿生地区社会福祉協議会について

地区社会福祉協議会は、地域住民に最も身近な社協として地域の方々により組織された任意の団体です。



## 柿生地区社会福祉協議会

人口(世帯数)	113,156人(48,951世帯) (平成26年6月現在)
高齢化率(65歳以上)	20.66%(平成26年6月現在)
設立年月	昭和33年8月
対象地域	王禅寺、王禅寺西、王禅寺東、白山、虹ヶ丘、上麻生、下麻生、早野、岡上、万福寺、古沢、五力田、片平、白鳥、栗平、栗木、栗木台、黒川、南黒川、はるひ野
主な拠点活動場所	福祉パルあさお、いこいの家(王禅寺・麻生・片平・白山・岡上)、麻生区役所、町内会館等
総予算額	4,746,500円(平成28年度)
構成	町会・自治会、民生委員児童委員、保護司、施設、ボランティア・当事者団体、青少年指導員、スポーツ推進員、子ども会、学校・PTA、老人クラブ、母親クラブ、賛同者

麻生区の人口  
172,382人/75,507世帯 (平成26年9月現在)





# 平成28年度 賛助会費実績

ご協力ありがとうございました！

平成28年度賛助会費実績額  
6,996,134円

麻生東地区 3,025,900円

柿生地区 3,970,234円



麻生区社会福祉協議会キャラクター  
キューちゃん

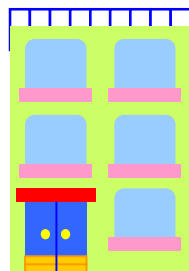
# ご協力いただいた**賛助会費**は、 このように使われています。



住民の皆さま

賛助会員による  
協力

(自治会・町会等の協力)



麻生区社会福祉協議会

集められた賛助会費は、地域福祉の推進を目的として  
区内2つの地区社協及び区社協の事業費として活用されます。

賛助会費は、集められた地域の福祉を  
支える事業費として還元されます。

賛助会費の70%は2つの  
地区社会福祉協議会へ配分

麻生区社会福祉協議会

の事業費として

2,448,840円

資材費含む(500,000円)

麻生東地区社会福祉協議会

の事業費として

1,943,130円

柿生地区社会福祉協議会

の事業費として

2,604,164円

# 麻生区社会福祉協議会の主な事業

(参考／ ※平成27年度事業報告より)

## 法人運営事業

社会福祉協議会の経営及び運営全般を担いました。

- ①理事会評議員会の開催
- ②賛助会員の募集
- ③寄託金品受付 ほか

## 調査研究事業

第3期地域福祉活動計画の進捗管理。

## 移送サービス事業

区内在住で、車いす利用などにより移動することが困難な方に対して、福祉車両「ロッキー号」による移送サービスを実施しました。(160件)

## 助成事業

ボランティアグループや区内会食・配食団体などに助成金を交付し、地域福祉活動の充実を図りました。

- ①ボランティアグループ等活動助成
- ②高齢者ふれあい活動支援事業 (区内13団体) ほか

## 在宅福祉サービス事業

区民の在宅福祉を支えるため、地域住民や関係団体と協力して事業を進めました。

- ①要援護者支援について考える懇談会
- ②地域の関係づくりの大切さを考える講演会

## 子育て支援事業

子育てにおける悩みや課題を解決できるような講座の開催、支援に係る人材の育成をしました。

- ①子育てグループ交流会の開催
- ②子育て中の親向けの講演会
- ③ペアレントトレーニング講座の開催(年4回)

## ボランティア活動振興事業

区内のボランティア活動の活性化と継続活動の支援、人材育成の推進を図りました。

- ①ボランティア相談コーナーの開設
- ②福祉教育の推進
- ③情報紙「ぼらぼら広場」の発行
- ④ボランティア養成講座、チャレボラ2015などの講座開催など

## 広報啓発事業

区民へ地域福祉の広報啓発を図り、福祉活動に積極的な参加を呼びかけました。

- ①広報誌「ほほえみ」発行(年3回)
- ②介助犬とふれあう講座の開催など
- ③福祉啓発映画界



# 麻生区社会福祉協議会の事業 一例

**小学生や中学生へ福祉体験の場をつくっています。**

福祉についての理解を深めるため、車いす体験や障害をお持ちの方の話を聞く場の調整や、ボランティア体験講座などを行っています。

福祉教育としては、平成27年度は50件の申込があり、延べ4,038人の方に体験してもらいました。



# 麻生東地区社会福祉協議会の主な事業

三役会、役員会のほかに、地域の福祉課題に対して、「総合企画部会」、「青少年福祉部会」、「高齢者福祉部会」、「障害者児福祉部会」、「女性幼児福祉部会」、「ふれあいサロン実施委員会」の5部会・1委員会にわかれて、事業を展開しています。

- 青少年問題に関する講演会、研修会の実施
- 敬老祝事業の実施
- 思い出映画館の実施
- バリアフリーコンサートの実施
- 親子ふれあい野外活動、ふれあい教室の実施
- 広報紙「麻生東」の発行
- 高齢者配食サービスの実施
- ふれあいサロンの育成援助
- 地域の福祉団体や母親クラブ、障害当事者団体への助成 など





## バリアフリーオータムコンサート

障害を持っている方だけでなく誰でも参加できるコンサートとして、福祉の啓発や交流を目的に実施しました。200名近い方が参加しました。

## みんなでワイワイ♪親子遊び！！

子育て中のご家族を対象に、実施しました。日頃、お子さんと接する機会が少ないお父さんとのふれあいは、ほほえましい光景でした。



賛助会費は、これらの活動を支える大きな財源となっています。

# 柿生地区社会福祉協議会の主な事業

三役会、役員会のほかに、地域の福祉課題にたいして、「福祉啓発委員会」、「高齢者福祉委員会」、「青少年福祉委員会」、「地域子育て委員会」、「障がい児者福祉委員会」の5つの委員会にわかれて、事業を展開しています。

- 敬老祝事業の実施
- 健康増進等の講演会の実施
- 広報紙「かきおの社協」の発行
- 食育講演会の実施
- 障がいの理解のための事業の実施
- 青少年問題に関する講演会等の実施
- 子育て世代に向けた講演会等の実施
- 地域の福祉団体や母親クラブ、障害当事者団体などへの助成 など



## 中学生の車椅子講習



中学生を対象に、車椅子乗車と介助体験の講習を行いました。地区社協委員より説明の後、車椅子体験を行い、乗車する障がいのある方の気持ちを汲んで介助する大切さを真剣に学んでいました。

## 広報紙「かきおの社協」の発行

地区社協活動の啓発を目的として、広報紙「かきおの社協」を年3回発行しています。

委員が取材を重ねた地域福祉情報が満載です。ホームページからもご覧いただけます。



賛助会費は、これらの活動を支える大きな財源となっています。





資料説明に入ります。お手元の  
資料をご覧ください。



**ご清聴ありがとうございました。**